

令和4年（2022年）9月29日
 熊本県教育庁市町村教育局義務教育課
 熊本県教育庁県立学校教育局高校教育課

令和4年度全国学力・学習状況調査の 教育事務所管内等及び県立中学校の結果と取組について

このことについて、令和4年（2022年）4月19日（火）に実施されました標記調査における各管内等及び県立中学校の結果と取組の内容は、以下のとおりです。

1 教育事務所管内等の状況

(1) 教科に関する調査結果概要（各管内等の公立小中学校及び義務教育学校）

	小学校			中学校		
	国語	算数	理科	国語	数学	理科
全国平均	65.6	63.2	63.3	69.0	51.4	49.3
県平均	65	62	63	68	49	49
宇城	67	64	64	68	49	48
玉名	67	64	66	67	46	47
菊池	65	61	63	68	48	49
阿蘇	65	61	66	68	48	51
上益城	61	58	60	67	45	48
八代	62	60	61	67	46	48
芦北	61	57	61	68	47	48
球磨	64	61	63	67	50	48
天草	65	64	66	69	49	48
山鹿市	69	64	70	70	47	50
熊本市	66	62	62	68	50	49

※数値は平均正答率(%) ※宇城、玉名、八代は、県立中の結果を含まない値

※網掛け部分は、全国平均を上回っている項目

(2) 県教育委員会の主な取組

県、市町村教育委員会及び学校の代表で構成する学力向上推進本部を設置し、「熊本の学び」を支え学力向上を目指す「『熊本の学び』アクションプロジェクト」として、「誰一人取り残さない学びの保障」と「教員一人一人の授業力向上」を推進。

【主な取組】

- 課題の改善に向けた重点取組の共有とその課題解決に向けた参考資料の提供
 - ・各学校への通知や各管内校長会議での講話の実施による「課題の改善に向けた重点取組」の共有
 - ・全国学力・学習状況調査結果を基に、継続した課題である問題の提示やその克服に向けた指導のポイント等を具体的に示した資料をホームページに掲載

○各学校の教員一人一人の授業力向上に向けた研修の実施

- ・「熊本の学び」ステップ・アップ研修で、本県及び各学校の課題に焦点を当てた実践的演習の実施
- ・中学校国語、数学の担当を対象に、文部科学省教科調査官を講師とした授業力向上研修会をオンラインで実施（国語は新規）
- ・「熊本の学び」わくわくサークル（オンライン研修）で、中学校の5教科においてスーパーティチャーによる授業実践、全学調の結果を踏まえた協議や授業について意見交換の場を提供

○取組の成果等を検証する県学力・学習状況調査の実施（12月）

- ・調査結果を基に、教員の授業及び子供の学習状況の成果と課題を明らかにし、学校総体で改善に取り組む学力向上検証改善サイクルの推進
- ・調査実施後は、子供一人一人に学習のアドバイス等を記した個人票及び一人一人の課題に対応した学習プリントを提供し、課題克服を支援

2 県立中学校の状況

（1）教科に関する調査結果概要

	国語	数学	理科
全国平均	69.0	51.4	49.3
県平均	68	49	49
県立中平均	83	73	64

※数値は平均正答率（％）

※網掛け部分は、全国平均を上回っている項目

（2）主な取組

中高一貫教育校としての特長を生かした教育実践の推進

【主な取組】

○探究型学習の推進

- ・中学・高校の連続性を生かし、課題研究や海外研修など特色ある教育活動の実施
- ・探究型学習の成果を発表する3校合同の発表会（グローバル・デイ）実施

○研修会実施による授業力向上

- ・教職員の資質向上のために県立中学校3校合同で教科研究協議会の開催
- ・授業力向上のために各校の授業実践の好事例について情報共有

○ICTの活用推進

- ・「ICT活用実践事例集高等学校編」等の活用事例を参考にした取組促進

担当	熊本県教育庁市町村教育局義務教育課 課長 藤岡(6664) 審議員 井手(6651) 熊本県教育庁県立学校教育局高校教育課 課長 前田(6652) 審議員 坂本(6784)
----	---